

「全国に誇れる御成門中学校を創る」—世界に発信する—



# 御成門だより

令和2年2月3日 発行

第 10 号

発行責任者

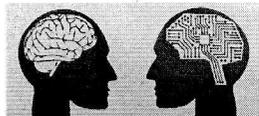
港区立御成門中学校

校長 佐藤 太

教育目標 「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋 3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-tyky.ed.jp

## 10年後の社会は？ 自分の頭で考えて自分で実行する



校長 佐藤 太

2月(如月・きさらぎ)。衣更着とも書き、まだ寒さが残り、衣をさらに重ね着するという意があるそうです。寒さや風邪対策をしっかりして、健康に注意して2月も全力で学校生活を送ろう。

1月最後の1週間は、本校の展示会でした。皆さんが、これまで調べたり、学習してきた成果物や取り組んだ作品は、個性あふれる数多くの作品がありました。これからの時代は、ますます、一人一人の想像性、感性、独創性、自分の視点を持ち、自分の思いを込めて取り組んでいくことが大切になると思います。

皆さんは、Society5.0(創造社会)という言葉を知っていますか。高度情報通信社会の中でAI(人工知能)やロボットが様々な仕事や社会の仕組みに入り込む時代が、遠くない将来到来すると言われています。それは、AIが、ビックデータといわれるこれまでの膨大なデータから一番最適な選択や答を割り出して、それに沿った社会のシステムや生活の仕方が様々な場面で展開される社会です。

先日、ある回転寿司店に行ったときも、来店客の受付(席予約や待ち時間)をペッパー君ロボットが対応していました。すでに医療分野でも患者の撮られたレントゲンは、まず始めにAIがその写真の影を読み、グレーなものや明らかな患部と判断できるものが、次に専門医によって読影されています。今の社会でもスーパーやコンビニのレジや窓口は無人で、AI搭載の機械に支払う生活が一部始まっています。製造業も人が組み立て作業に携わっていた時代からロボットが働きを代行するように移行し、近い将来、車は自動運転となり、無人バスが道路を走ったり、宅配はドローンで届けられるようになるでしょう。

私が子供の頃、都バスは運転者さんとは別に車掌さんという人に運賃を払い、切符を切ってもらい乗車していましたが、今は車掌さんという職業はなくなりました。タイピストや電話交換手なども同様です。逆にユーチューバー、ネイリスト、トリマーなどは私の幼少期後に生まれた職業です。今後も自動化の変化が起こる社会で、10年後は、どのような職業が生まれ、新たな仕事に変わっていくのでしょうか。

定型的な仕事は、ロボットに変わり、AIがデータから最適解を出す社会になっても、私達は、人にしかできないことを、人としての強みとして捉え、磨いていくことが大事だと思います。AIには、人としての想像力や感性を働かせて新しい発想をしたり、考えをしたり、人間らしい心に触れたコミュニケーションは難しいと言われています。だからこそ、私達は、人間らしい感性や個性、豊かな心、独創性を自ら意識したり、共感しあいながら、それらを大切に育てていくことが重要だと思います。

そして、これからの時代は、自分から社会の中で起きている課題や問題点を発見する力や多様性をもった集団の中で、協働性やリーダーシップを発揮する事も大事です。感性を豊かに働かせて、どのような未来を創っていくか、どのように社会や人生をより良いものにしていくかという目的を自ら考えていける人間が必要です。そして、多様な他者と協働しながら、目的に応じて納得できる道を見いだせる力を身に付けてほしいと思います。未来を描きながら、未来につながる今の自分をしっかり磨いていきましょう。